生活と教育を守れ

組織労働者、教員、商工業者も憤然決起

地方自治 防衛大会で氣勢あぐ

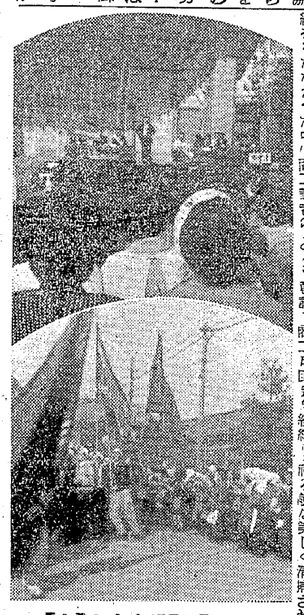
政府のデフレー政策の強行と莫大な予算を必要とする再軍備への狂奔は、国民生活の上にシワ寄せられ直接的には地方自治体の予算に響き、全国都道府県で四五〇億の赤字を出し地方自治体の財政面を根本からくつがえそうとしている。福岡県でも一〇数億の赤字を出しこのため四割予算削減が行われようとしている。これに反対闘争をつづけている県、市職組、教組では二十三日県下一斉に地方自治防衛決起大会を行った。

終局の目的は現政府政策變更へ

大牟田では市教組、市内の県職組織せられて大会の気勢はいよいよ高まった。市職組連合会の主催で午後一時から低林公園で応援団体大地評、三川鉱労組、炭婦協、社会党左派など千五百名が参加して開催した。教組坂井実行委員長の挨拶、各友誼団体からそれぞれメッセージがあり、三鉱労組から堀川副組合長の「全県民一体となって最後まで闘い、終局の目的は現政府の政策の変更を求めよ」と挨拶、炭婦協の五島会長は「自らの生活は自らの手で勝ちとるためにスクラムを組んで頑張ろう」と述べた。この大会でとくに現在闘争中の電化労組の鈴木氏が「おとなしくしていても会社は首を切る、われ〳〵は今後強力な闘争を展開するから御支援を乞う」との挨拶を行った。また三鉱連より「県民の幸福を守り貧地区の大会を祝す」の祝電が寄せられた。

青旗やめて…先生達も赤旗で

またこの会場に今まで団結する組織をもたなかった中小商工業者の「とゆう意識で商工党助会を組織」人たちが団結したければ自滅する



【上】大会会場【下】市役所裏のデモ隊

の生活と幸福を守り教育の完全を守るために彩本知事に反省を促す「決議文を満場一致採択、さらに高教組から「社会科の思想愛国的方針の変更」「大学予備校化をやめ民主的高等学校教育課程への改善」を大達文部大臣宛、市教組から「教育委員会の民主化」「教育費の二割削減をやめよ」と市当局へそれぞれ抗議文を手交する旨の決議を満場一致可決採択したのち「教育委員会の民主化」「教育費の二割削減をやめよ」と市当局へそれぞれ抗議文を手交する旨の決議を満場一致可決採択した。

山神祭も前段闘争

三川支部小濱分会

三川支部小濱北地域分会では、去廿日参列して、先づ神主の朗々たる二十六日、今次賃金闘争の重要口調の下に祝詞奏上並びに玉串奉典が厳粛の裡になされ、殿多殿殿の意志統一をはかるため、階級労働者としての立場からする山神祭並びに敬老会を前段闘争の一環として華々しく開催した。

この日午前九時、社宅内の山神に敬意を表する御神酒を贈り、炭婦協からは、真心こめた折詰弁当を贈って和やかなふんいきのうちに、往時の炭鉱労務者の実態やそのほかの、面白い昔話をいつ尽きるともなくこもごも談話した。

ついで、相方より余興にいり、老人たちの円じゆくした十八番など続出、意義深い本行事の幕を閉じた。

固い決意を書って午後三時四十分散会した。

この日三鉱労組では午前中労働会館で中央委員会を開いたが、午後は委員、執行委員全員が大会に応援参加した。

一緒に闘わねば

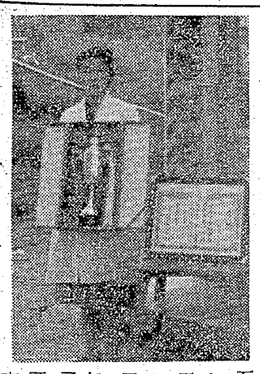
炭婦協の竹本さん談　以前は先生たちは青旗でしたが、今度赤旗をつくって持ってこられたが先生たちの気持もわかり、ほんとうに一緒に闘わねばならぬと思い大変嬉しかった。それに近頃動員が少なかったが屋からの仁しい時間にもかゝわらず炭婦協の皆さんが予想外に集まられて参加されたのには、私たちの組織に一段と自信を深めました。

会長に小宮氏再選

大地評第一回定期大会

十月二十九日午前十時から労働会館で大地評第一回定期大会が行われた。会場両側には、すらりと各単産の組合旗が、ところせましとはりめぐらされ、正面には「統一闘争で要求を勝ちとれ」以下十四項目の大会スローガンが掲げられて、会場にはすでに闘わんかなの気が充実していた。

山田副会長（電産）の司会により議長団に花園（三鉱）、山田（三鉱）坂井（教組）を選出、議長団を代表して花園氏より「暖かしい大地評の発展は、今や全国民の注視の中に見守られて、今日の大会を開いた。期待にそむかぬ成果を



厚生理髪屋さん

理容コンクールに入賞

親切な床屋さんとして地域分会の大変親しまれて人気を博している人たちや組合員、炭婦協の人々に人がいる。

万田会館の裏にある厚生理髪館でバリカン片手に毎日元気で働いている鈴木スマ子さんがその話題の人、鈴木さんは組合員や家族の人に本当に親身になって散髪をやってくれるので以前から親しまれていたが、今度去月二十日に熊本市で行なわれた熊本県理容技術コンクールに、日頃の腕を競い多数の参加者の中から三位に入賞、二十七日に熊海市で行なわれる全国コンクール大会に出席する。鈴木さんのために声援を送りましよう。

鈴木さん談　日頃の仕事が大切な仕事をやったから今度の賞にはようやく入れたと思っています。これも組合員の方のお蔭だと喜んでいます。

中心とする闘いに相呼応して立上り、大地評の旗の下に堂々と前進しよう」との大会決議文が万場の拍手の中に力強く決議された。

斗争中の労組支援可決

ついでその他の問題について、不当な首切りを受けている電化労

総評に呼應斷乎吉田賣國政府打倒へ

ついで事務局長より一般経過報告があり、

英雄なき百十三日の闘いを勝ち抜いた三鉱労組の闘争をめぐり各単産の共闘（両情スト）が不充分であった。各単産も上部組織との関係や組合内部の主体性の問題から同情ストまで打てなかったのだろうが、今後は強力な闘争を出し地方自治体の財政面を根本からくつがえそうとしている。福岡県でも一〇数億の赤字を出しこのため四割予算削減が行われようとしている。これに反対闘争をつづけている県、市職組、教組では二十三日県下一斉に地方自治防衛決起大会を行った

度の運動方針は支配階級にたいする闘争を経済的要求を政治闘争と結びつけて地域的共闘で闘うと決定して具体的行動方針の下に行動したが、目的のある部分しか達せられなかった。この欠陥は報告書や機関の中から発見し、三十年度の運動方針を、なくて大派なものにしたい。平和運動の推進運動は一応達成したが、さらにもっと強力に推進したい、また中小企業労組の育成指導はつねに争議の場合、闘争の中に加はって育成指導を行ってきたなどの一般経過報告を終り、決算報告、会計監査報告が行われ、規約改正の件については原案通り万場可決した。

運動方針について地評をさらに強固にして共闘争を行い、今後の闘いはすべて幹部闘争でなくて大衆闘争に持っていき、それも一単産の個々の大衆闘争を展開する。そのためには、ますます共闘の重大性が求められる。また地協の強化は抜本的なものとして、来るべき一大闘争のためにも是非敢行せねばならない、との方針を打出した。

役員選出に移り、新役員の発表、自己紹介が行われ、小宮会長（電産）より「前途に横たわる難関を打破るために皆様方の全面的な協力を得て闘いたい」と挨拶。

ついで「国民共通の苦しみをなくするために断固たる闘いを推行する」との秋季闘争宣言が行われたまた「吉田売国政府によって行われたデフレー政策に対する総評を

炭婦協港務支部座談會

物資購入

の利潤を積立て期手、賃斗への備え着實

港務支部では二十六日支部で炭婦協港務支部役員会を開き終了後、午前十時三十分から本部調査部長の司会、港務支部教宣部長臨席で座談会を行なった。

出席者

新港社宅　納山タミ子
〃　梁田ヨシノ
日井社宅　小川　文子
四山社宅　内山ハルエ
平井社宅　小浜南社宅
〃　黒田ナル子
（司会者　本部調査部長）田尻コズエ
司会　結成後の炭婦協の組織活動はどうしていますか。

Aさん　問い組合員であって炭婦協に加入していない人にはいろいろの問題があるのでしようがとくに早く加入された人にたいしては遠まないという気持をもっているが、いま、での行きがかり上加入していない。守衛の奥さんたちも加入されたが、皆さんと一緒に行動してゆかれるのは日頃から念願でした。主人の気持がこうなったから加入されたのです。といっておられます。

Bさん　私の地域では既成婦人会の動きはどうですか。

Bさん　支部の炭婦協では現在物資購入をやっているが、非常に成績がよい。生活部長が担当で行なっており、この半月の間に新港一・二〇〇円、日井七〇〇円、平井一〇〇円、南一・〇〇〇円の利潤をあげ、これは全部会費に入れている。四山分会では一〇〇円宛のカンパを行ないその他の問題について、不当な首切りを受けている電化労組から発言、副組合長より、闘つ熱意動員として、（イ）三鉱よりの動員が提出され、万場一致可決された。

最後に労働歌合唱、大会万才を三唱して、この意義ある大会をとゞこおりなく終了した。

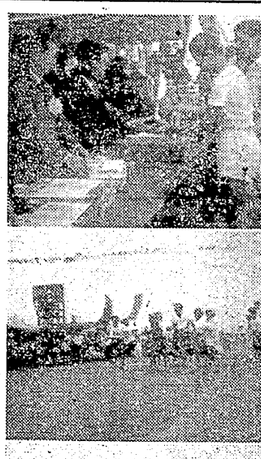
新役員

会長　小宮市太郎（教組）
副会長　太田　千秋（三鉱）
〃　内田　移（三鉱）
〃　末定（化学）
事務局長　清田　猿渡　春男（電化）
〃　末定（東芝）
幹事

地域では〝熊本外來〟

炭婦協リレーは〝大平〟が優勝

四山運動会活況を極む



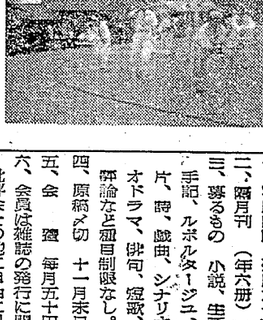
秋晴れの十月二十四日、四山支部では他鉱所に先がけて華々しく秋季大運動会を開催した。

この日は入場門のアーチに安全旗を中心に左右に労組の組合旗が赤々と風になびいていた。

今回はとくに各競技に支部長杯が出されるというので各職場、地域は大張切りで、炭婦協の白襷東応援団やムシロ旗が立ち、労働者の祭典の感があった。

従来会社が嫌がっていた炭婦協も今日は晴れて出場し、この大会の花形となりリレーも出すという張切りぶりであった。

支部長杯争奪戦の成績は、少年の部では大屋一区が一位で、宮内、大屋二区がそれぞれ二、三位、少女の部は一位大屋一区、二位四四区、三位大平。炭婦協リレーでは最後の頑張りをみせた大平が一位、敢屋二位、四山五区が三位、地域リレーでは完全に外来がリードし一位熊本県外来、二位福岡県外来、三位大屋三区であった。



三鉱労組を母胎に

働く者の文藝雑誌「炭坑地帯」を創刊

いま三鉱労組を母胎とする文学る。この堕落した文学界に、ささ機として、文学と生活、生活と闘雑誌を出そうとする運動がなされている。

これはいままですでに発刊されている文学雑誌が余りにもかけはなれたもので、形だけのにえきれないもの、スプチブル過ぎて空空な物語りになりすぎて、一かけら止むなきに成ることなく、それぞれ中折のジスタンスもないものになっていうと炭都大牟田より畜産をあげようとしている。

もともと大牟田地方ではこの運動方針がなされ「三池文学」をはじめ殷多の雑誌が刊行されたが大やかながらも新しい学生を起そうとする運動がなされた。

三池の企業整備闘争以前は一応刺激するようなことを書けば、あれは赤だ、と会社のブラックリストにのっていたが、企闘をたたかいぬいた今日、言論も出版も何等おそれることなく、みんなが勇気のつながりに目ざめて、大牟田の文学界も一つの変革をもたらしたのである。

三池輝く連勝樹立

九州炭鑛柔道大會

優勝した三池のAチーム

第三回九州炭鉱柔道大会が、さる廿（旧武徳殿）道場で開催、A（二十四日、福岡市東公園警察体育五段以下）B（三段以下）C（無段者）の三クラスにわかれ、各クラス四チームのトーナメント戦により熱戦を展開、Aクラス（三池）Bクラス（高島）Cクラス（田川）が優勝した。

わが三池代表は果敢な熱戦の結果西村勝彦の下、主将村田元段、副将湯村四段、中堅小北三段、鶴田初段、先峰佐藤初段のAチームは輝く連勝をとげ、Bチームも志免を初戦で全敗させ、破竹の勢いで進んだが、惜しくも決勝戦に好機を逸し高島に18対17で敗れた。

試合成績

A級　準決勝　三池5―1北松
決勝　三池20―17山野
B級　準決勝　三池4―0志免
決勝　高島18―17三池

假装や珍プレー續出

優勝は西原分会

三川支部長杯ソフトボール

気づかれた天気も絶好の野球日和となり十月二十四日午前九時から三川支部では各地域分会対抗フットボール支部長杯争奪戦が新港ベツクネットに二次合の真紅の優勝杯を獲得せんものと各分会旗を先頭に入場式を行い、児島副支部長の開会の挨拶、酒井大会々長の挨拶、山田審判長の試合上の注意があって幕を開いた。

第一試合　小浜北対原万田Bの両チームで熱戦の火ぶたが切られた試合が白熱化するとともに続々と弥次喜多を始め、神主、お富、ピエロ、大学の応援団長、分会長の花形、炭婦協の女学生等各色とりどりの仮装応援隊の西原チームが入交りで地域応援合戦を繰展げた激闘七時間夕暮せまる午後四時三十分多くの強敵を激破した西原チームと選来の緑ケ丘地区チームの間で優勝戦が行われたが遂に西原チームが七対三で初の支部長杯を獲得、川野主将の手に渡された。熱戦は午後五時二十分無事幕を閉じた。

試合

【左上】優勝カツ主川野主将【右上】熱戦を受取る【下】仮装隊も一息

歌をおぼえる會

大牟田市民館で發會

十七日午後一時から市民会館で大牟田歌をおぼえる会の発会式を開げた。

この暗い世相を歌を歌って吹き飛ばそうと、選くは柳川方面よりはるばる愛好者の場の人達のほとんどは執行委員の人達よりレベルも低いしゆ勉強する時間もないので、むづかしい説明には質問も意見も十分に述べることが出来ません。もっとわかり易い言葉で話してもらって、私達が質問していることについては「何だ、こんなことも知らないのか」と思わず話して下さい。私たちはだゞ、はくせんと執行部についてゆくのではなく、よく知った上で聞いに参加したいのです。

最後に云いたい事は、執行部や委員の人が偉い人や学者になるのでなく、話のよくわかる人になっていたゞきたいと思います。一人が十を知るよりも、十人の人が一つづつ知った方が組合の闘争にどんなにプラスになるかと思います。

くり返し私は執行部並びに委員の方々に申上げます。

万遍なくみんなにわかるように宣伝をお願い致します。

本所　I生

わかる情宜を

これは決して執行部の人々に苦言を述べるのではありませんが、だんだん組合運動が発展してゆくと共に英語か中国語かわからぬむづかしい言葉が多くなってきている。

私たち労働者及び主婦達は尊常小学校か高等小学校程度、また言の中学校、女学校程度で出る今の新しい言葉はわかりません。

執行委員会や中央委員会でどんな熱烈な理論闘争がなされようとかまいませんが、地域や職場の人達にはもっとわかり易い言葉で話して下さい。

分会全員が出場

假装隊にビックリ

十月二十四日港務支部四山地域分会では毎年の例にならい、地域の運動会を盛大に開催した。

この日とんより曇った午前九時、市川分会長の挨拶で運動会の幕を開き、地域三十五世帯の小分会ながら老幼男女すべてが参加した。

別に運動場に適当の場所がないので、社宅の日溜りになっている一三〇棟と二八棟の間で行われた競技はおもしろいさんも、おばあさんも分会員、子供、炭婦協の人もみんなで楽しめるプログラムを組んで全員一体となって楽しんだ。

炭婦協ではひそかに趣向をこらして応援団を用意していたが、大会途中突然飛び出して大会に花を添え満場からヤンヤの拍手をうけたとくに興味を放ったのは浦屋太郎の仮装でおもしろいさんに扮する奇想天外な恰好は満場の爆笑を受け、来賓競技では組合の役員、各地域分会長も参加して飴喰競走に出場飴紛で顔を真白にして走った。

くにこの日は運動会だからといって特別に弁当はつくらずに各自の家で昼食をすませた。

午後三時に全員和やかな空気の中で閉会式に終了し、終了后地域分会ではお神酒を配り懇談会をもって有意義に一日をすごした。

總評主催寫眞コンクール

十一月一日から三十日まで総評の

新年文藝　原稿募集

△創作

題材自由、四百字詰原稿用紙十枚程度、二、三回に連載予定

▲賞金　一等一篇千円、二等同七百円、三等五百円、他に佳作若干篇に賞品贈呈（選者　野間宏）

△感想文

内容＝組合員の場合は「政党と組合」主婦は「私達の生活」

四百字詰三枚程度▲賞金一等一篇五百円、二等同三百円、三等同二百円佳作若干篇に賞品を贈る　▲選者編集部

△学童綴方

題「運動会」八百字以内　応募資格は組合員の子弟にして中、小学生、原稿末尾に父兄名、学校、学年別、本人の氏名明記の事▲賞品入選三篇並に佳作数篇に賞品を差上げます。

△短詩文藝

▲詩自由題（選者野間宏）▲短歌「道」（選者岩本宗一郎）▲俳句「水はな」（吉岡禪寺洞）▲川柳「羊又は新年雑詠」（選者片山玄風）▲賞金＝夫三百円、地二百円。人百円、佳作若干篇に賞品　◎その他漫画、替え唄、噺くらべ等何でも結構です。掲載分には賞品を呈します。

△写眞

題「闘争」四ツ切、裏面にデータ記入の事。未発表に限る▲賞金＝特選一千円、入選五百円、佳作に薄謝（編集部選）

△締切　十二月一日

△宛先＝支部教宣部経由又は組合本部「みいけ編集部」宛

中小の人々を救へ

ボロを回收してカンパ

炭婦協では十月十八日の炭婦協分会時から中小鉱にカンパしようという提案が決定され、各社宅の分会毎に集中的に取集を行ない、終了后地域分会毎に集計し、終

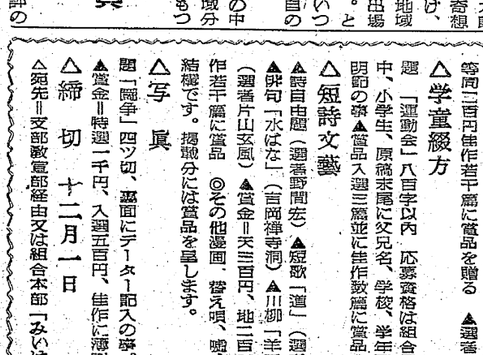
Aさん　上げ闘争はぜひ開力に

司会　賃金闘争を控えて執行部への希望は。

Aさん　賃上げ闘争はぜひ開力にやって貰いたいのですが、長期間のストは出来るだけ中止して最少の犠牲で最大の効果を挙げて貰いたい。

Cさん　私の分会ではいままでは炭婦協との間になにをするにも競走心を強かしてやっていたが、ちかごろでは嫌いがなくシヨンボリした様子で炭婦協に加入したいという気持が殆どですが、いままでの行動からして加入したいがためらっているかたちです。ちかく賃金を固つてしまって解散するもようです。

Cさん　私の分会ではいままでも炭婦協の動きが婦人会のためよりは



がガッチリしていて、いままでは炭婦協との間になにをするにも競走心を強かしてやっていたが、ちかごろでは嫌いがなくシヨンボリした様子で炭婦協に加入したいという気持が殆どですが、いままでの行動からして加入したいがためらっているかたちです。ちかく賃金を固つてしまって解散するもようです。

Cさん　私の分会ではいままでも炭婦協の動きが婦人会のためよりは

Dさん　一日もはやく加入して貰うのが気持がよいので座談会のようなものをもって、加入して頂いた婦人会の人たちも喜んで気持よく加入して頂いている。

Eさん　全員加入して自主的に活発な活動をしています。非常に団結が強くて集会なども五分前には全員集まるという家族的なグループをつくっています。

司会　今後の活動はどの様にやりますか。

Cさん　加入してこられる人にはどんな工合に受け入れるか、については別に会議はもっていません。非加入の人たちに強制は料、賃金カンパと他組織に負けないようにつゞけてきているが、現在堅実な加入があっていません。

司会　最近の炭婦協なり既成婦人会の動きはどうですか。

Aさん　小学校が運動会のとき既成婦人会のみに招待状を出して炭婦協を無視した問題が出ました。PTAを通じて早速学校へ抗議を行ない、後からきた招待状は突返してPTAを通じて地域分会に連絡して貰うことにしたが、何の通知もさきません。

司会　賃金闘争を控えて執行部への希望は。

Aさん　賃上げ闘争はぜひ開力に

Bさん　十一月二日に全員で立願寺へ行く予定です。

Dさん　毎週一回港友クラブで生花の会をもっています。

Bさん　支部の炭婦協では現在物資購入をやっているが、非常に成績がよい。生活部長が担当で行なっており、この半月の間に新港一・二〇〇円、日井七〇〇円、平井一〇〇円、南一・〇〇〇円の利潤をあげ、これは全部会費に入れている。四山分会では一〇〇円宛のカンパを行ないその他の問題について、不当な首切りを受けている電化労組から発言、副組合長より、闘つ熱意動員として、（イ）三鉱よりの動員が提出され、万場一致可決された。

最後に労働歌合唱、大会万才を三唱して、この意義ある大会をとゞこおりなく終了した。

新役員

会長　小宮市太郎（教組）
副会長　太田　千秋（三鉱）
〃　内田　移（三鉱）
〃　末定（化学）
事務局長　清田　猿渡　春男（電化）
〃　末定（東芝）
幹事

保養所利用などには〝證明書〟を

提出

健康保険の〝阿蘇山の家〟と指定保養所の利用者のうち、最近利用許可証を持参せずに宿泊を申出るものがあって部屋の割当などに無理を生じて運営に支障を来す場合があるので今後は必ず組合に申出て利用許可証を持参の上利用されるように希望している。

刊行規程
一、活版印刷　菊版八十頁
二、隔月刊（年六冊）
三、募るもの　小説、生活記録、手記、ルポルタージュ、日記断片、時、戯曲、シナリオ、ラジオドラマ、俳句、短歌、川柳、評論など題目制限なし
四、原稿〆切　十一月末日
五、会費　毎月五十円
六、会員は雑誌の発行に関し又は批評会その他に自由に出席発言できる。
会員申込者は申込書に記入の上配布者か又は本部編集部あてお送り下さい。投稿も同様です。その際『炭鉱地帯原稿』と明記のこと。
『炭鉱地帯』創刊準備会
河野昌幸、蒲池清一、加藤説夫